

第78回県展 審査員略歴

敬称略

【洋画部】 福田 美蘭（ふくだ・みらん） <初審査>

1963年東京都生まれ。東京藝術大学大学院修了。安井賞、インドトリエンナーレ金賞、VOCA賞、芸術選奨文部科学大臣賞など受賞。主な個展に国立国際美術館、東京都美術館、千葉市美術館、名古屋市美術館など。さまざまなメディアや複製技術の氾濫する現代における美術に対して、洞察の目を向ける作品を制作

【日本画部】 宮廻 正明（みやさこ・まさあき） <初審査>

1951年島根県生まれ。東京藝術大学大学院修了。日本美術院展内閣総理大臣賞、文部科学大臣表彰科学技術賞、全国発明表彰21世紀発明奨励賞など受賞。クローン文化財で特許取得。日本美術院同人、東京藝術大学名誉教授

【彫刻部】 日高 頼子（ひだか・よりこ） <76回展>

1937年東京都生まれ。東京藝術大学大学院修了。二科展特選・文部大臣賞・金賞・ローマ賞、長野市野外彫刻賞など受賞。第29回文化庁買い上げ。武蔵野音楽大学ほか各地に作品収蔵、設置多数。二科会参与

【工芸部】 内田 篤呉（うちだ・とくご） <初審査>

1952年東京都生まれ。慶應義塾大学卒業、美学博士、専門は日本工芸史。九州大学客員教授、慶應義塾大学、東京藝術大学などの非常勤講師を歴任。公益社団法人日本工芸会常任理事、文部科学省文化審議会、ユネスコ世界文化遺産、無形文化遺産、静岡県文化審議会、経済産業省産業構造審議会などの各種委員を歴任。MOA美術館・箱根美術館館長

【書道部】 <漢字> 澤江 抱石（さわえ・ほうせき） <初審査>

1949年島根県生まれ。新潟大学教育専攻科書専攻修了。毎日書道顕彰（芸術部門）受章、國井誠海賞受賞。毎日書道展審査会員、全日本書道連盟評議員、独立書人団常務理事、大鴻会主宰

【書道部】 <かな> 倉橋 奇艸（くらはし・きそう） <初審査>

1958年埼玉県生まれ。大東文化大学、奈良教育大学卒業。池内艸舟、山口南艸、阪本千楸に師事。日展会員、読売書法会常任理事、日本書芸院常務理事、群艸會会長

【写真部】 森井 禎紹（もりい・ていじ） <初審査>

1941年兵庫県生まれ。日本の伝統文化である「祭り」をライフワークとして撮り続けた祭りの数は、1,100カ所を超える。三田市文化賞、全日本写真連盟80周年功労賞、兵庫県このとり賞、兵庫県文化功労賞、兵庫県文化賞など受賞。日本写真家協会会員、全日本写真連盟関西本部参与、二科会写真部名誉会員

【 グラフィックデザイン部 】 永井 一史 (ながい・かずふみ) <初審査>

1961年東京都生まれ。多摩美術大学卒業。博報堂に入社後、2003年にデザインによるブランディングの会社 HAKUHODO DESIGN を設立。企業、行政の経営改革支援や、事業、商品・サービスのブランディング、VI デザイン、プロジェクトデザインを手掛けている。クリエイター・オブ・ザ・イヤー、ADC 賞グランプリ、毎日デザイン賞など国内外受賞歴多数。著書に『博報堂デザインのブランディング』『これからのデザイン経営』など。株式会社 HAKUHODO DESIGN 代表取締役社長、多摩美術大学教授

【 先端美術部 】 大西 若人 (おおにし・わかと) <初審査>

1962年京都府生まれ。朝日新聞編集委員。東京大学卒業、修士課程を中退し、87年に朝日新聞入社。東京本社、大阪本社、西部本社の文化部などで、主に、美術や建築について取材・執筆。同部次長などを経て、2010年より現職。「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2012」(現代企画室)、「リファイン建築へ 青木茂の全仕事」(建築資料研究社)、「森山大道とその時代」(青弓社)などに寄稿